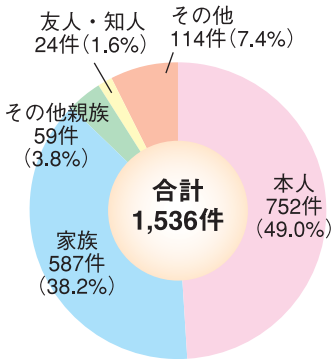


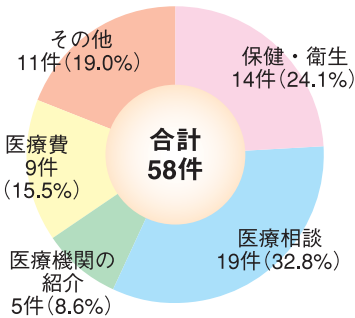


# シルバー110番



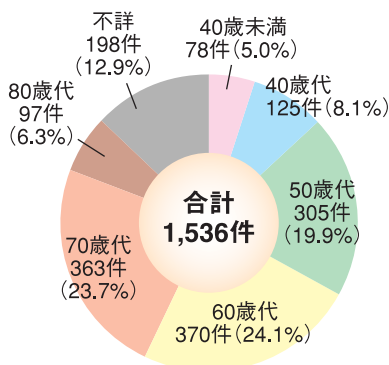
**相談者別**  
**利用形態別相談状況**

医師による医療相続が19件で最も多く、3割強を占めています。

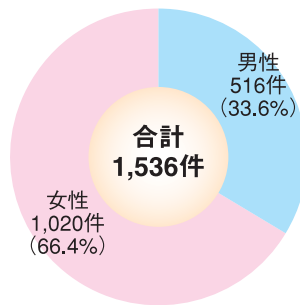


**保健・医療**

「年金等」と「税金」が22件で最も多く、生活保護などの「生計」が17件で続いています。

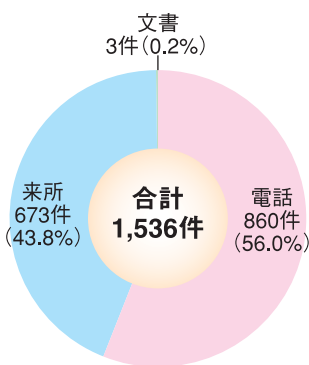


**年齢別**  
 これまで同様、圧倒的に女性からの相談が多く、男性からの相談の約2倍となっています。



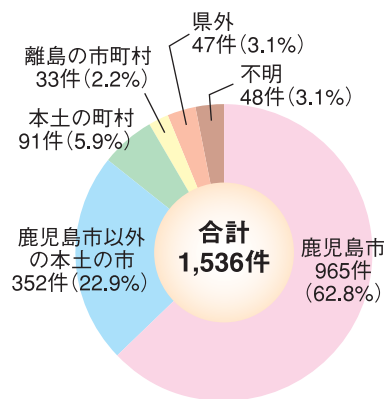
**性別**

本人からの相談が752件で半数近くを占め、「家族」「その他親族」が続いています。「本人」を含む身内からの相談が1398件で約9割となっています。「その他」は市町村社協・施設の職員や民生委員などです。



**相談方法別**

相談者を居住地別にみると、相変わらず鹿児島市が一番多く、次いで「鹿児島市以外の本土の市」「本土の町村」の順です。離島から33件、県外から47件の相談がありました。

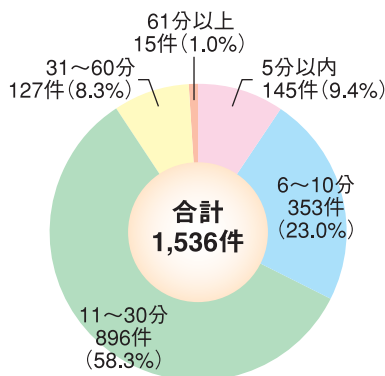


**地区別**

60代、70代、50代の順ですが、50歳代以下の相談は、親や祖母などの高齢者に関する相談がほとんどです。



最も多いのは11〜30分の896件で約6割を占めています。ほとんどは30分以内でした。1時間以上の長時間に及ぶ相談が15件ありました。



**相談時間別**

電話による相談が860件ですが、来所による相談も673件ありました。来所相談の多くは福祉機器に関するものです。文書による相談も3件ありました。